



豊里

迅速な応急手当が救命の鍵

豊里支部婦人防火クラブ(三浦由美子会長)の研修会は7月6日、豊里公民館で開かれ、会員25人が参加し、救急救命処置を学びました。

講師の消防署南出張所の消防士は「病気や事故などで心停止になった人を救うためには、救急車が到着するまでの間に速やかな応急手当が大事」と説明。参加者は、訓練用の人形で心臓マッサージや人工呼吸、自動体外式除細動器(AED)を使い、応急手当の知識と技術を身に付けました。

心に響き合う元気なあいさつ

「あいさつ運動」は7月19日、米山中学校と米山地区の3小学校の通用口で実施され、青少年のための登米市民会議米山支部(海野達兄会長)の会員らが参加しました。

運動は、健全な青少年を育成するために年間2~3回実施しています。肌寒い梅雨空の下、登校する児童・生徒に対し、会員らが「おはよう」と声掛けすると、子どもたちは「おはようございます」と笑顔で元気なあいさつを返し、爽やかな朝を迎えました。



米山

交流広がるゲートボール大会

「第34回登米市石越あじさいゲートボール大会」(石越町ゲートボール協会主催、猪股龍一会長)は7月6日、石越総合運動公園で開かれ、30チーム、約150人の選手が参加し、競技をしながら交流を深めました。

今年で34回目を迎えた本大会は、1985年から毎年開催され、市外からも多くのチームが参加。ゲートボール愛好家による白熱した試合が繰り広げられ、志波姫チーム(栗原市)が優勝しました。



石越

人生で大切なこと学ぶ志教育

西郷小学校(小野寺由子校長、児童89人)の「志教育」は6月27日、同校で開かれ、全校児童が将来のために大切なことなどを学習しました。

講師には、南方町出身で鉄道写真家の武川健太さんを招き実施。武川さんは、自身が鉄道写真家になったきっかけや、何かに興味・関心を持って取り組むことの大切さを話しました。講話の後には、写真から季節を想像するゲームが催され、子どもたちは楽しい時間を過ごしました。



南方

つやま幼稚園で最後の夏祭り

「七夕つやまつり」は7月5日、つやま幼稚園で開かれ、この日を待ちわびた園児たちが、お祭りを楽しみました。

来年4月からこども園になるため、つやま幼稚園として開催するのは今回が最後。子どもたちは、浴衣や甚平を着て参加し、保護者が出店した射的、輪投げ、スタンプラリー、スーパーボールすくい、じゃがいもすくいなどで賑わいました。花火大会では、打ち上げ花火やナイアガラ花火に大歓声が上がりました。



津山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

合宿通学で友情と絆深め合う

北方小学校(成瀬陽子校長、児童191人)の「コミュニティ・スクール」の合宿通学は6月30日~7月3日の4日間、北方公民館で開かれ、4~6年生36人が公民館で合宿しながら小学校に通学しました。

合宿では、郷土料理「はっと」作りや星の観察、温泉の源泉をたき火で沸かしたドラム缶風呂などを体験。参加した児童は、友達や地域住民との絆を深め、忘れられない思い出をつくりました。

優勝を目指して3種目で熱戦

「第14回とよまスポーツ祭」が7月14日、登米総合運動公園と登米中学校で開かれ、グラウンドゴルフ、ユニカール、ソフトボールの3種目で熱戦を繰り広げました。

選手たちは声を掛け合い、心地よい汗を流しながら競技を楽しみました。ソフトボールは接戦の末、逆転で鉄砲町チームが優勝。グラウンドゴルフは入谷チームが、ユニカールはかわばたAチームがそれぞれ優勝し、市大会への出場を決め、喜びを分かち合いました。



登米



東和

森林の守り人から仕事を学ぶ

「錦織こどもステーション」(錦織公民館主催)は7月30日、米川の蚕飼山と綱木農村公園を会場に開かれ、小学生21人が森林について学びました。

子どもたちは、講師の米川生産森林組合職員から、森林の管理について話を聞き、木の伐採作業を見学。大きな杉の木が切り倒されると、子どもたちは驚きの表情を見せていました。その後、間伐材を利用した本棚作りでは、真剣な眼差しでくぎ打ちなどを体験しました。

やまがっこで夏休みの思い出

「第15回やまがっこ」(上沼コミュニティ運営協議会、上沼小学校区子供育成会共催)は7月27日、上沼ふれあいセンター、上沼小学校や長沼ボート場で開かれ、児童約120人が参加しました。

1、2年生はレクリエーション、3、4年生はニュースポーツ、5、6年生はボート・カーなどを体験。レクリエーションにはジュニアリーダーも参加し、活動を盛り上げるなど、参加した児童たちは、楽しみながら交流を深めました。



中田